

平成 29 年 第 3 回 定例会 一般質問通告事項

9 月 7 日 午 後	城間和行議員（市民連合）	質問方式：一問一答方式
	<p>9 1 尾道の子ども・高齢者政策について</p> <p>(1) 尾道市の後期高齢者は何人 後期高齢化率は何%か</p> <p>(2) 市内 136 地区のうち、後期高齢化率が 25%超・30%超の地区はそれぞれ何か所か</p> <p>(3) 「高齢者の貧困」に対する対応策は 後期高齢者の所得の把握はできているか</p> <p>(4) 生活保護受給者に占める後期高齢者の割合は何%か また今後の予想はどうか</p> <p>(5) 今後、尾道市はどのような地域支援事業を実施し、また展開されていくのか</p> <p>(6) ロコモティブシンドローム対策として現在どのような事業を実施しているか</p> <p>(7) 地域の高齢者施設である、いきいきサロンでの活動に対する尾道市の評価は</p> <p>(8) 少子高齢化が顕著な地域を中心に指定管理者制度の弾力的な運用を考えてはどうか</p> <p>(9) 「子どもの貧困対策 P T」が提言している 83 事業は来年度すべて実施されるのか</p> <p>(10) 完全実施した場合 概算でどれくらいの予算になるか また一般会計に占める割合は何%になるか その割合は相対的に全国でトップレベルになるか</p> <p>(11) 拡充される乳幼児医費助成制度の申請勧奨通知はいつ 何人に送付したか また、申請期間はいつまでか 申請場所はどこで現在の申請件数は何件か その割合は</p> <p>(12) 申請期間を過ぎた場合はどういう対応を準備しているか</p> <p>(13) 尾道市教委は就学に関する支援・援助として従来とは違う取り組みをしているか</p> <p>(14) 市教委の地域の教育力に対する考えは 地域社会に果たすべき小中学校の役割は</p> <p>(15) 学校選択制導入前年 2003（H15）年度と今年度の比較において、久保小、長江小、土堂小、吉和小、日比崎小の児童数と増減率はどうか</p> <p>同じく久保中、長江中、吉和中、日比崎中の生徒数と増減率は</p>	

- (16) 児童生徒の増減率の差が大きい学校間において学力格差が生じる危惧は、現在及び将来ともないといえるか
(17) 学校、地域別の貧困率と学力の関連について市教委の見解と具体的対応策は

2 尾道市病院事業について

- (1) 尾道市民病院の分娩（お産）の休止について
ア 尾道市内のお産の件数は年間何件で、そのうち市民病院では何件か
イ 市民病院におけるお産件数のここ数年間の推移は
ウ 市内のほかの産婦人科の病院への影響はないのか
エ 市民病院におけるお産の中止が、どのように経営改善や病棟の再編につながるのか
- (2) 地域包括ケア病棟について
ア 地域包括ケア病棟の開設から現在までの入院患者数は何人で病床利用率はどのくらいか
イ 実際の平均入院日数は
ウ 新たな看護師や療法士の配置はしているか
エ 今年度の増益見込みはどの程度予想しているか
オ 回復期の患者さんを受け入れたことで、本人や家族の反応はどうか
- (3) 地域医療連携について
ア 尾道市地域包括支援センターの市民病院内への移転に伴う医療と介護の連携の実情はどのようになっているか
イ 市民病院の入院患者で地域包括支援センターを利用した人はどの程度か
- (4) 市民病院におけるクリニカルパスについて
ア クリニカルパスとはどのようなもので、患者さんにはどのようなメリットがあるか
イ クリニカルパスの使用率向上が経営にどのような影響を及ぼすのか
ウ 専任看護師 1 名は、今年 4 月から配置されているか
エ 今年度は、使用率の目標 25% を達成できる見込みはあるか

3 北前船寄港地フォーラムについて

- (1) 尾道における北前船の歴史とその役割について市の認識

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">(2) 北前船により、どのような人、物、文化の交流があったか(3) 北前船による人、物、文化は現在どのような形で引き継がれているか(4) 来年尾道で開催される寄港地フォーラムの実行委員会はいつ頃立ち上げ、どのような参加機関、メンバーを予定しているのか(5) 第 26 回寄港地フォーラムの内容は、スローガンやのメインテーマは決まっているか、尾道の特色をどのように発信しようと考えているのか(6) 近隣市町との共催はあるのか、全体の規模や市民参加をどのように考えているのか(7) 今年度北日本の寄港地が日本遺産に登録された、日本遺産への追加登録申請は考えているのか(8) 平成 31 年に開港 850 年を迎えるが、北前船時代から続く内航海運業の役割と更なる持続、発展のための情報発信を考えたらどうか(9) 市制 120 年、開港 850 年、更なる日本遺産登録、市史発刊を見据え、文化振興部門を拡充してはどうか |
|--|--|